

日本大学法制学会として創立

日本法制学会は創立大正2年(1913年)3月で、同年4月から事業を開始する。

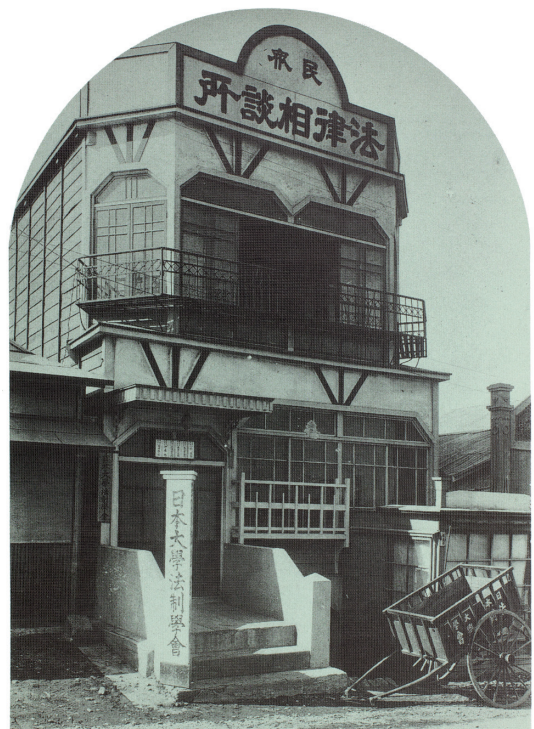
創立時は日本大学法制学会の名称で、日本大学所在地の神田三崎町に事務所が置かれた。初代会長には石渡敏一博士(日本大学理事、内閣書記官長)が就任する。

活動目的は、国民に法律知識の普及を図ることにあり、具体的には法律用語を口語体で記述した「普通文官養成講義録」を発行し、法律に精通した人材を養成した。



初代会長

石渡 敏一博士



大正13年当時の「日本大学法制学会」事務所(日本橋・浜町)
右手前にある荷車は講義録を郵便局などへ運ぶため使われたもの。